

和光大学総合文化研究所公開シンポジウム

後援：川崎異業種研究会

「いま」の建物文化にできる省エネを考える

～暮らしの中の身近な建物を通じて～

プログラム

第1部：建物における省エネ技術や部材・製品等の展示や省エネの取り組みや成果の発表

第2部：基調講演「窓から考える省エネと建物文化」松本浩志 様 (マテックス(株)代表取締役社長)

パネルディスカッション 「低炭素社会の実現に向けた工夫や施策に関する提言」

- ・戸室 太一 様(戸室建築設計室代表)
- ・原 美由紀 様(川崎市環境局地球環境推進室 担当課長)
- ・清水 雅貴 (和光大学経済経営学部専任講師)

第3部：情報交換・懇親会

開催主旨と概要

東日本大震災によって、現代の多大なエネルギーを要するライフスタイルを見直し、持続可能性の高いエネルギーの利用による節約型のライフスタイルへの大転換を図らねばならぬことが、わが国においても広く意識されるに至った。

一方でわれわれの生活で利用される建物などの空間は潤沢なエネルギー供給を前提に形成されており、直

ちに現在の発電システムを一新する脱原子力などの方策を取ることができうる環境は整っていない。今、われわれに必要なのは、原子力批判や、現代文明批判ではなく、脱原子力や持続可能なエネルギーの実現というゴールを設定しつつ、そのゴールに向かって、いかに社会的にコンセンサスを築き上げ、進めるかという「バックキャスト経営」で

ある。その為にも現在の建物とそれを利用する文化のあり方の中で、環境負荷を下げる、「省エネ」の技術の蓄積と共有を図り、「ゴールに向かう過渡期の中の建物文化」を意識する必要がある。本シンポジウムは上記目的から、研究者、企業人を交えたセッションと、企業や家庭といった身近な建物の省エネ文化や、グッドプラクティスの開陳を

行う機会として提案するものである。

なお、建物文化を考える際には様々な建物が対象となるが、空調システムの装備を前提として建設された窓が開閉しない、風をうまく取り込めない高層建築物の利用者が、節電による冷房利用制限により苦しんでいるということを考え、建物の対象をビル(高層建築物)に限定することにした。

参加申し込み・お問合せ等

〒195-8585 東京都町田市金井町2160
和光大学総合文化研究所
E-mail: souken@wako.ac.jp

本学に関する詳細はWebページをご覧ください。

<http://www.wako.ac.jp/index.html>

第1部：ブース参加企業募集



日時：2011年11月26日(土) 12:30から19:00

参加費無料

第1部 (12:30から14:00) 企業展示発表交流会

E棟1階コンベンションホール

第2部 (14:00から17:00) 基調講演とシンポジウム

E101教室

第3部 (17:00から19:00) 情報交換・懇親会

E棟4階 食堂

※事情によりタイトルやスピーカーが変更されることがありますことをご承知おき下さい。